



ありがとう 坂野中学校

第53回卒業生 花野加苗

「学校が好き。」わくわく、どきどき、頑張ろう、今日はあの子と話そう、こんな風に胸を躍らせて通った場所が坂野中学校でした。勉強も、部活も、先生も、そして大好きな友達も・・・私の中で一番心に残る学生時代はこの坂野中学時代です。まさに学園天国、この言葉がぴったりです。笑ったり泣いたり、楽しんだり悩んだり、私の人生の青春時代の舞台となった坂野中学校が、この度閉校を迎えるということを知った時、たくさんの思い出が蘇るとともに、切ない気持ちで胸がいっぱいになりました。あれから15年以上の月日が流れたのかと、今の自分と当時の自分を照らし合わせながら懐かしい思いでこの原稿を書いています。

小学校から中学校に上がり、私たちは1クラスの友達から4クラスの友達と出会うことになりました。この刺激は12歳の少女には非常に大きな変化です。100人を越える同級生。誰がどんな子で、どんなことに興味があって、自分のことをどう思っているのか。人に対して興味津々！思春期という多感な時期を、この坂野中学校で過ごしたのです。

私は今教員の仕事をしています。学校を将来の職業の場を選んだ理由に、坂野中学校での思い出が関係しています。多くの人が集まり、同じ時間に、同級生と肩を並べて過ごす場所。語り合い、励まし合い、時には競い合う関係が交錯する。こんな素敵な場所は、私は学校しかないと思います。当時友達や先生と話した内容も、聞いていた音楽も、流行っていたファッションも・・・全てすぐに思い出すことができるほど、毎日が輝いていた3年間だったのです。人と人が出会い、ドラマに溢れる学校という場所で私は今子どもたちを教えています。当時の自分のように、学校が大好きだと言える子どもたちを一人でも多く増やす教育をモットーに、仕事をしています。学校は子どもたちにとって1日のほとんどを過ごす大切な場所です。その場所で過ごすその時間が素晴らしいものであれば、人生は豊かなものになると思います。つらいことも苦しいことも、生きていく中では絶えずあるけれど、この坂野中学校での3年間を思い出せば勇気が出ます。

そして縁とはすごく不思議なもので、私は今年この坂野中学校で同級生だった友達と結婚しました。生徒会をしていた中のメンバーでしたが、卒業して15年ぶりに再会しました。歩んできた道も全く違った私たちでしたが、当時の共通の大切な思い出や友達が結婚に繋がりました。夫も、坂野中学校時代が学生生活の中で一番心に残っていると言います。このように、坂野中学校は私だけでなく、多くの人に充実したかけがえのない時間をくれた場所なのです。いつか子どもができたなら、坂野中学校に、私たちの思い出の詰まったあの校舎に通わせるという夢が叶わないのはとても残念ですが、新しく生まれ変わる小松島南中学校で、また素晴らしい時を過ごしてくれることが夫婦の夢でもあります。

10代だった少女は30代になりました。社会人になり、母になり、父になり、それぞれの生きる道は違うけれど、集まれば解き放たれたかのように自然とあの頃に戻ります。会うといつも安らぎとパワーの両方をもたらして帰路につきます。お世話になった先生方は、今度は大先輩として、温かくそして熱く、同じ教員としてアドバイスをくださいます。こうして今でも恩師と生徒の関係は続いているのです。

感謝という気持ちは、言葉だけで表し尽くすことはとても難しいです。ですがこの閉校という時代の節目を機に、私は改めて感謝の気持ちを胸に生きていこうと思います。大好きな坂野中学校。姿を変えても、その名称を変えても、私たちが誇りに思っているような学校で在り続けて欲しいと願っています。